

各 位



## 「2018 年度 グッドデザイン賞」受賞

ハーフプレキャスト工法によるべた基礎構造「Σ base-S 工法」

會澤高圧コンクリート株式会社(社長:會澤 祥弘 本社:北海道苫小牧市)と住友林業株式会社(社長:市川 晃 本社:東京都千代田区)は「2018 年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を下記のように受賞しました。

### 【受賞の概要】

#### ハーフプレキャスト工法によるべた基礎構造「Σ base-S 工法」/住友林業(株)・會澤高圧コンクリート(株)

Σ base-S 工法は、工場でプレキャスト鉄筋コンクリート造の基礎梁(以下、PCa 基礎)を製造し、現場へ運搬、設置した後、基礎スラブを打設するべた基礎構造です。PCa 基礎梁相互の接合部を強固に緊結する新技術の導入によって高い構造性能を確保し、加えて管理された工場での生産によって寸法精度に優れた製品の安定供給が可能です。また、建設現場の作業効率を追求した合理的な部材構成や施工方法を採用することで省工数化と工期短縮を実現しています。深刻化する建設業界の高齢化や人手不足にも対応しながら、ストック重視型社会の実現に向けた高品質な住まいを永続的に提供します。



### ＜審査員評価 公開コメント＞

基礎のプレキャストコンクリート化のアイデアは古くからあるが、コストや現場での摺り合わせの難しさからなかなか実用化してこなかった。ここでは昨今では主流となったベタ基礎を前提に、基礎梁部分だけをプレキャスト化し、工場生産と現場施工を巧みに組み合わせることで、汎用的な工法を実現しているところが評価できる。鉄筋工や型枠工の人手不足が常態化することが予測される中で、このような工法が広く普及することを期待したい。

### ■ 「グッドデザイン賞」概要

グッドデザイン賞は、様々に展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちの暮らしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。

その母体となったのは、1957 年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制(通称Gマーク制度)」であり、以来約 60 年にわたって実施されています。その対象はデザインのあらゆる領域にわたり、受賞数は毎年約 1,200 件、約 60 年間で約 45,000 件に及んでいます。また、グッドデザイン賞を受賞したデザインには「Gマーク」をつけることが認められます。「Gマーク」は創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標としてその役割を果たし続けています。(参照:<http://www.g-mark.org/about/>)

以上

＜お問い合わせ先＞

會澤高圧コンクリート(株)開発営業本部東京支店 宮田

TEL: 03-5812-9521